

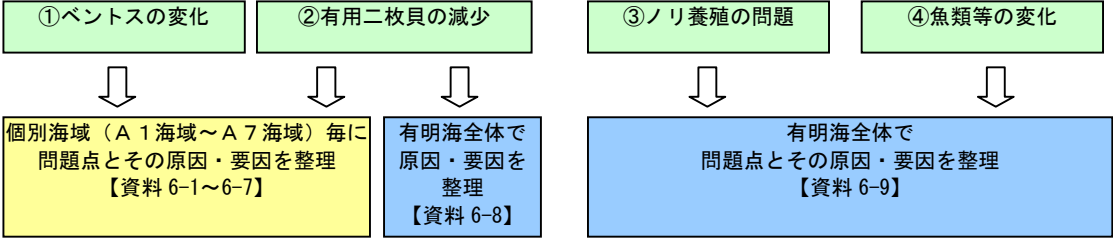
問題点と原因・要因の考察（構成） （4章関係）

本節における「問題点と原因・要因の考察」の構成イメージを図1に示す。資料5のとおり海域区分ごとに問題点とその原因・要因を整理するとの基本方針に従い、まず有明海のA1海域からA7海域、八代海のY1海域からY5海域の海域区分ごとに記載することとし、このなかで基本的に移動が少ないため特定の海域特性の影響を受けやすいと考えられるベントスの変化と有用二枚貝の減少の問題について考察する。（資料6-1～6-7、7-1～7-5）

一方、有明海・八代海等が抱える諸問題には、環境特性による海域区分で検討しては事象を捉えることができないもの、空間として海域全体で捉えるべきものがある。有明海では、「有用二枚貝の減少」の問題のうちエイによる食害等のほか、「ノリ養殖の問題」、「魚類等の変化」といった問題がこれに該当する。八代海でも、「魚類養殖業の問題」、「魚類等の変化」、「ノリ養殖の問題」といった問題がこれに該当する。これらの問題は、有明海全体または八代海全体でそれぞれまとめて記載する。（資料6-8～6-9、7-6）

また、橘湾または熊本県天草市牛深町周辺の海面については、隣接する有明海または八代海で発生した赤潮が流入することが問題となっているため、それぞれ有明海全体または八代海全体の中で記載する。（資料6-9、7-6）

《有明海》



《八代海》

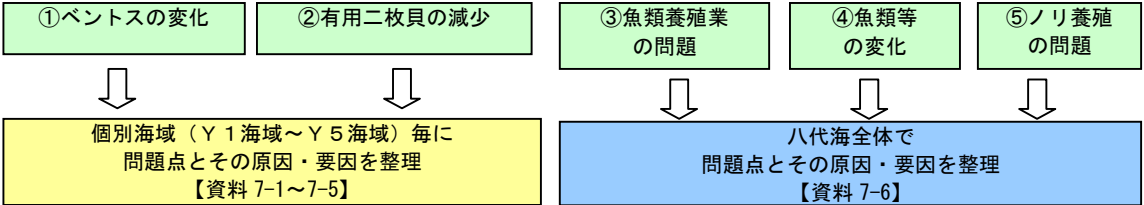


図1 4章の構成イメージ